

令和 7 年 10 月 31 日

港湾局参事官（技術監理・情報化）室

国土技術政策総合研究所

港湾及びターミナルの国際標準化の議論が本格的に開始 ～ISO/TC 8/SC 27（港湾及びターミナル）第 1 回総会に出席～

令和 7 年 1 月、国際標準化機構（ISO）において、港湾分野では初めてとなる委員会（ISO/TC 8/SC 27「港湾及びターミナル」）が設置され、10 月 21 日から 23 日にかけて開催された第 1 回総会に国土交通省も出席しました。

令和 7 年 1 月、ISO^{注1}において、港湾分野では初めてとなる委員会（ISO/TC 8/SC 27^{注2}「港湾及びターミナル」）が設置されました。この SC27 においては、港湾及びターミナルの計画、設計、運用等に関する国際標準化が議論されます。この度、10 月 21 日から 23 日にかけて第 1 回総会が中国・上海にて開催され、国土交通省からは国土技術政策総合研究所の中本港湾・沿岸海洋研究部長が日本代表団の一員として出席しました。

国内においては、公益社団法人日本港湾協会（PHAJ）が、SC 27 に対応した国内審議団体として日本産業標準調査会（JISC）からの承認を受けて活動しています。また、PHAJ において、有識者及び関係機関等から構成される国内委員会が設置され、SC27 における日本の対処方針の審議等、港湾及びターミナルの国際標準化についての議論がなされています。

国土交通省においても、引き続き、港湾分野の国際標準化に関する検討に貢献してまいります。

注 1) 国際標準化機構（ISO）の概要

国際電気標準会議（IEC）、国際電気通信連合（ITU）と並ぶ国際標準化機関。電気・電子技術、通信技術の 2 分野を除く幅広い分野における国際規格を作成。加盟国は 172 か国（2024 年 12 月現在）。日本からは唯一の会員として、日本産業標準調査会（JISC）が参加。JISC がその事務を委託する国内組織を国内審議団体といい、国内審議団体は規格開発に関する国内意見の集約や ISO での会議への参加等を担う。

注 2) ISO/TC 8/SC 27 の概要

委員会名は Ports and terminals（港湾及びターミナル）。ISO/TC 8（Ships and marine technology: 船舶及び海洋技術）の下に設置された港湾分野では初めてとなる分科委員会。日本は、票決事項への投票義務を持つ P メンバー（Participating membership）として参加。

■ISO/TC 8/SC 27 の国内審議団体に関する情報は、公益社団法人日本港湾協会（PHAJ）のウェブページにも掲載しています。

(<https://www.phaj.or.jp/>)

<問合せ先>

港湾局参事官（技術監理・情報化）室 須山、小林

TEL : 03-5253-8111（内線 46-613）、03-5253-8681（直通）